

# 東光寺だより

## 念願の写経塚 完成



東光寺の境内にはいろいろな石仏や塚があります。この度人形塚の隣に「写経塚」なるものが仲間入りいたしました。この発端は随分昔、檀家の方から家を改築するにあたって仏壇の回りを整理していたら曾祖父が書き溜めていた写経がたくさんできました。どうしたらよいでしょうかという相談がありました。その他書いた写経はたくさんたまったらどうしたらよいのでしょうか、始末など「ごみ」としてだすのはちょっと……。ゴミなどとんでもないことです。

境内には三十年前に建立した「人形塚」がありますが、古くなった人形など多くの人形の魂がここに眠っています。「写経塚」があってもよいのではないかと思います。つき皆さんに相談した結果、東光寺にある自然石を用いて「写経塚」を作ることにいたしました。



その話を聞いて住職の知り合いの方から手ごろな小石を三百個ほどいただきました。その後東光寺に参詣された方に一人一個ずつ心経の文字を書いていただき二百七十六人の力を借りて塚の下や周りに埋めること

にしました。

写経は試験の答案を書くのと同じで真剣に一字一句間違いのないように取り組んだ最上の作品なのです。おろそかにしてはなりません。

住職も四十歳のころから写経をはじめ、八十歳からはほとんど毎日暇があれば本堂で写経を行っています。その数二千巻を超えるでしょう。

霊場巡りで奉納されたお写経もうずたかく積まれています。ご本尊にお供えした写経は丁寧にご供養をした後、この写経塚に埋葬し永遠の命をいただくことにしたいと思います。

もし写経を残されて処置にお困りのかたがありましたら東光寺へご相談ください。

## 東光寺のご涅槃図



(縦260cm×横200cm)

2月15日はお釈迦様がお亡くなりになった日です。各仏教寺院では涅槃図といってお釈迦様がお亡くなりになった図を掛軸にしてお飾りしご供養をいたします。

### 東光寺 人形供養 並びに写経塚開眼供養

3月20日(春分の日) 午後1時30分から

### 己書師範千恵子 今月の己書作品



令和6年3月1日

文責 東光寺 住職 鷲見邦隆